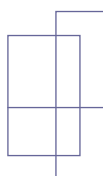


平成25年度 都市農村共生・対流総合対策交付金共生・対流促進計画



グリーン・ツーリズムの推進 ネットワーク構築事業



報告書

平成26年3月

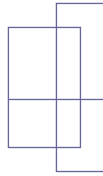
株式会社リクルートホールディングス

目 次

I . はじめに.....	3
1 . 事業の背景と目的.....	5
1) グリーン・ツーリズムの現状と課題.....	5
2) 事業の目的.....	8
2 . 事業内容.....	9
1) 事業の構成.....	9
2) 事業実施体制.....	10
II . 事業実施結果.....	11
0 . 事業者向け研修会の開催.....	13
1) 開催概要.....	14
2) 開催結果.....	23
1 . グリーン・ツーリズムの取り組みに係る支援.....	31
1) 事業者向けセミナーの開催.....	31
2) G T エントリーモデル造成の手引き作成.....	42
2 . グリーン・ツーリズム推進のためのネットワーク構築.....	43
1) 事業者ネットワークの構築.....	43
2) 自治体におけるネットワークの構築.....	48
3) オーダーメイド依頼.....	55
3 . 多様なグリーン・ツーリズムモデルプランの検討.....	57
1) 多様なグリーン・ツーリズムモデルプラン検討ワークショップの開催.....	57
2) 多様なグリーン・ツーリズムモデルプランの課題整理.....	64
4 . 観光事業者とグリーン・ツーリズム実施地域とのマッチング.....	67
1) 事業者向け研修会における交流機会提供.....	67
5 . グリーン・ツーリズムへの誘致方法の検討.....	69
1) プロジェクトサイト「里山・里海タイムトリップ」の構築.....	69
2) G T プランの販売.....	72
3) 情報流通調査.....	82
4) 消費者のエントリーモデルプラン評価調査.....	97
5) G T 事業者の流通取組実態調査.....	113

Ⅲ. 本年度事業の総括と今後の課題 119

1. G T推進に必要なネットワーク構築..... 121
2. 個人観光客向けのプラン造成について..... 122
3. 商品流通について..... 124



1. はじめに

1. 事業の背景と目的

1) グリーン・ツーリズムの現状と課題

○現状

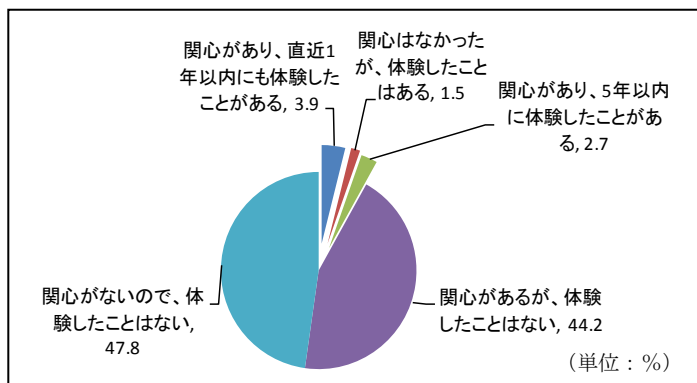
農産漁村においては、人口減少、高齢化に伴い、より一層の地域コミュニティの活性や地域経済に活力を戻すための方策が求められている。また東日本大震災後、特に都市部を中心とした消費者にとって、ライフラインを緩やかに確保する意味合いも含み、あらたな農産漁村との交流、絆が求められ始めている。

その中で、農林水産省で取り組まれてきた、農山漁村地域における自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動として展開してきた農村体験プログラム＝「グリーン・ツーリズム」（以下、G T）に対する期待は、農業関係者のみならず旅行者や観光事業者にとっても高まりつつある。

特に観光旅行実施率および旅行費用が低下傾向にある近年において、一般消費者は、旅行に対してより高い付加価値を求め始め、旅先の土地でしか手に入らない「食」や、その土地にしかないリアルな「体験」を体感できることを求めるようになり、農山漁村での「非日常体験」や「生活に埋もれた知恵」を体感できる旅行にはお金をかける旅行者も少なくない。以上のことから、観光地と農村地域を結び、食や観光の側面からもG Tを推進するメリットは大きいといえる。

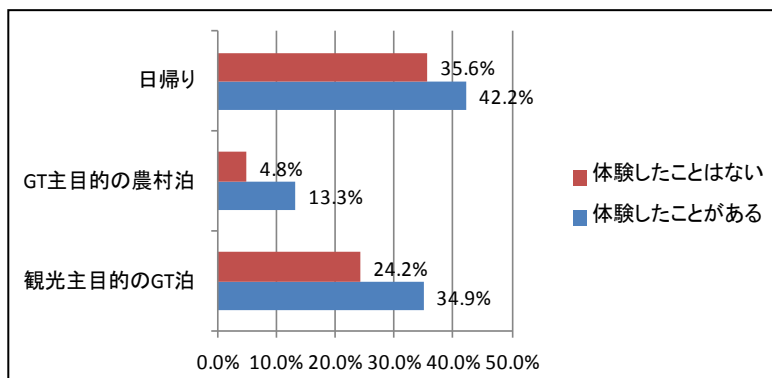
しかし、G Tの国内実施率は、まだまだ高いとはいえず、未経験者も多い状況の中、子供のころの学校行事を加味すると4割弱（2007年リクルートじゃらんリサーチセンター調べ）、18歳以上の直近1年の経験率は8%（2010年グリーンツーリズムエントリーモデル推進協議会調査）であり、未経験者の半数近くは、農村体験を旅行に取り入れることに関心が高いことから、G Tのすそ野の拡大の重要性が予見される。しかし情報流通及び販売が学校行事を対象としたものなど限定的であることが多く、消費者目線で市場を捉えたと一般の旅行者が購入するプログラムになっているとは言い難い状況である。

図表 GTへの関心や体験有無



出典：2010年グリーンツーリズムエントリーモデル推進協議会調査

図表 GTへの参加意向



出典：2010年グリーンツーリズムエントリーモデル推進協議会調査

○課題

現状を踏まえたGTの課題は、未経験者率の高さにあるのではと考えられる。経験率を高めるためには、関心はあるが始められない人が多い事を踏まえ、きっかけとなる「初めての人向けの短時間かつ簡易なGT体験プログラム」(以下エントリーモデル)の検討が必要である。

以下に想定される課題とその解決の方向性を整理する。

＜市場(ターゲット)の拡大＞

短時間でも一度G Tを体験することにより、G Tを目的とした旅行行動を促すことができるものとする。そのための「初めての体験」自体が現状ではしづらい状況であり、市場（ターゲット）の拡大につながっていないと考えられる。市場の拡大に向け、エントリーモデルの検討が必要である。

＜課題解決の方向性＞

G T未経験者を意識した
体験プログラムの
バリエーション拡大

＜GTプログラムの充実と魅力の向上＞

現状のG Tプログラムの多くは、農山漁村での「非日常体験」や「生活に埋もれた知恵」を体感できるといった、消費者の興味を喚起する商品（キャッチコピー等含む）になっていない。改善に向け、プログラムの精度及び魅力の向上が求められる。

＜受入体制の充実＞

長期滞在を意識したプログラムや観光地との連携がなされていないため、旅程中のすべてを農山漁村で完結するものが多く、気軽に一般の旅行行程に取り入れにくいものとなっている。近隣観光地との連携など、柔軟な受入体制の整備を検討する必要がある。

＜課題解決の方向性＞

近隣観光地との連携

＜流通やPR手法の改善＞

農山漁村では、観光事業や旅行業者との接点が薄いため、プログラムを販売する（マッチングの）機会が少ない状況である。事業者同士のネットワーク構築などにより、情報提供やマッチング機会の創出などに向けたプラットフォームを検討する必要がある。

＜課題解決の方向性＞

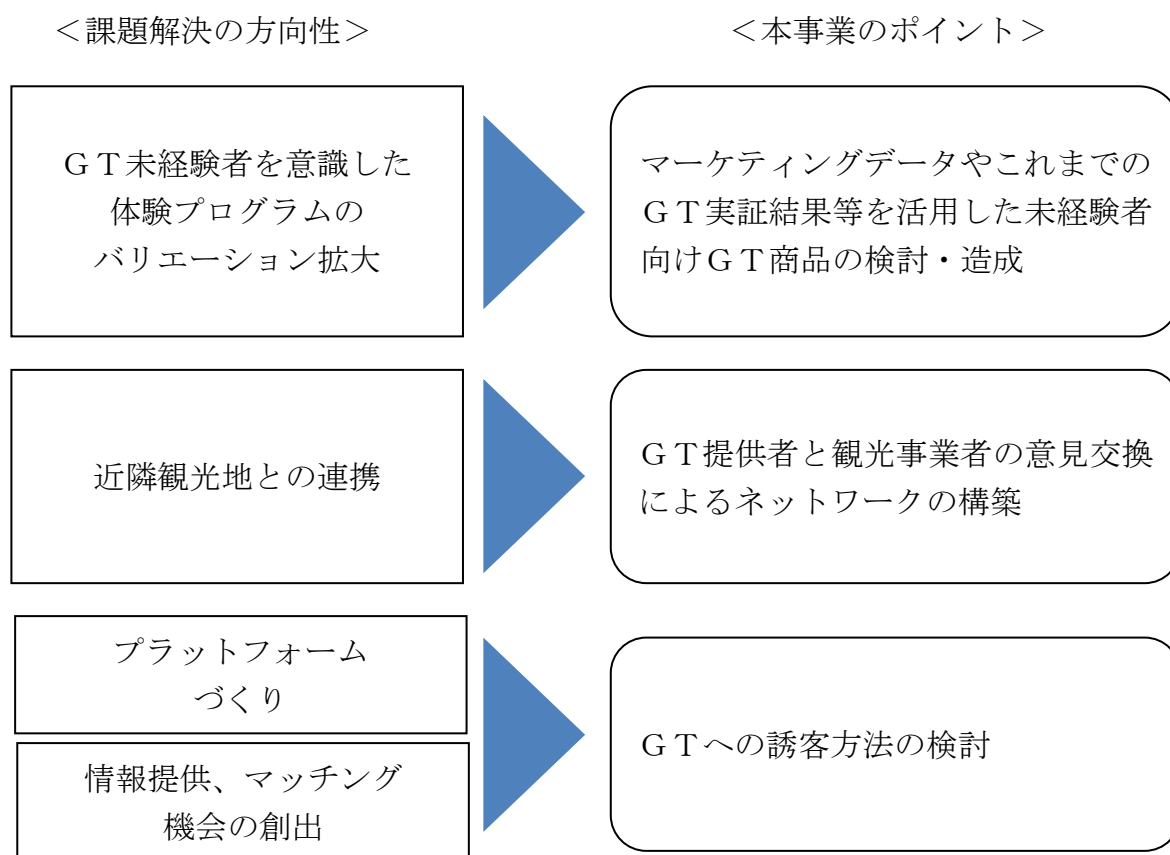
情報提供、マッチング
機会の創出

プラットフォーム
づくり

2) 事業の目的

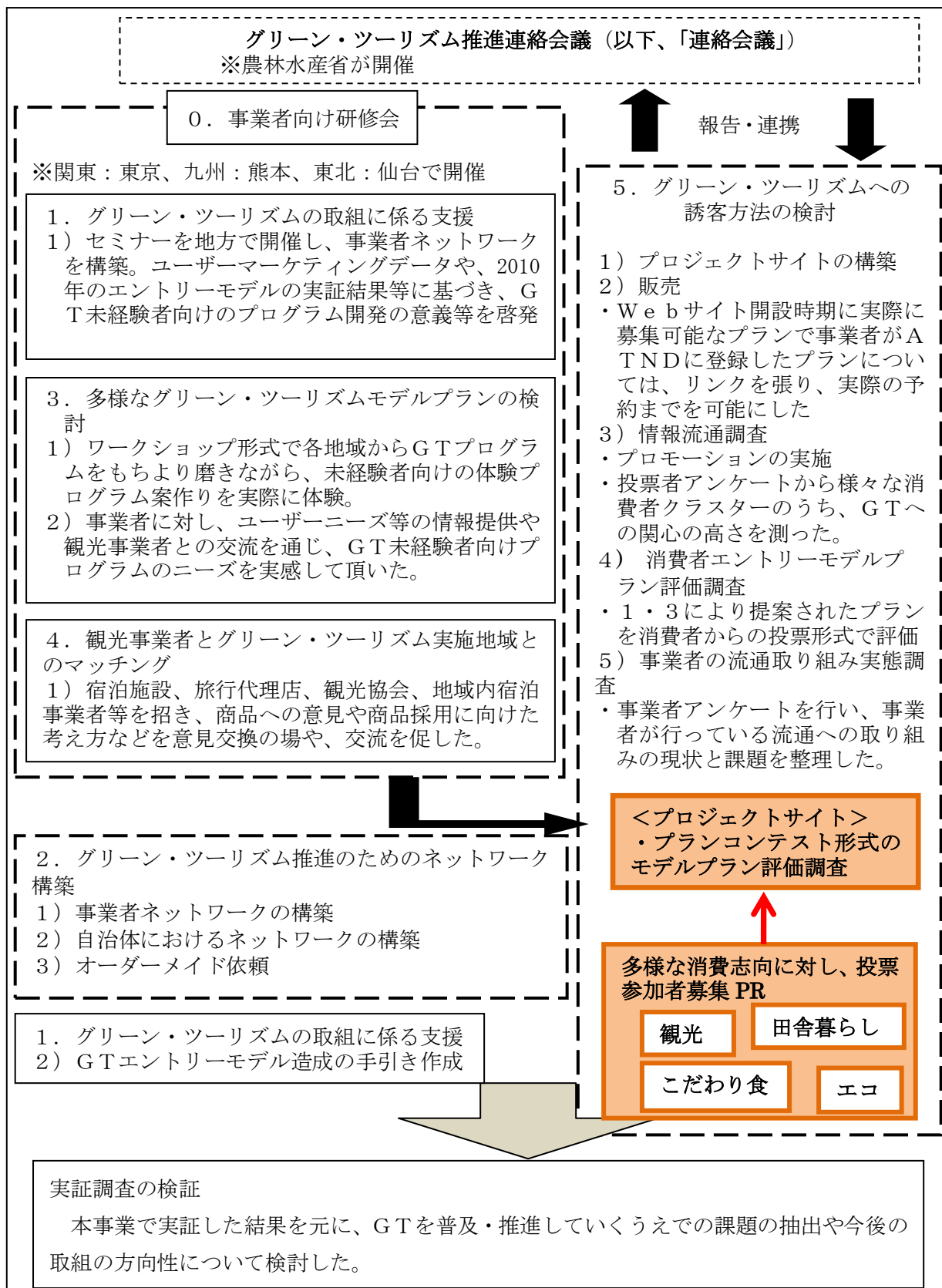
本事業では、未経験者にG Tを体験してもらうことによって経験率を向上し、最終的にはG Tのファンを拡大することを目指し、課題解決の方向性に基づいて未経験者にG Tを体験してもらいやすくする仕組みを構築するとともに、未経験者向けG T商品を造成することを目的とした。

図表 課題解決の方向性と本事業のポイント

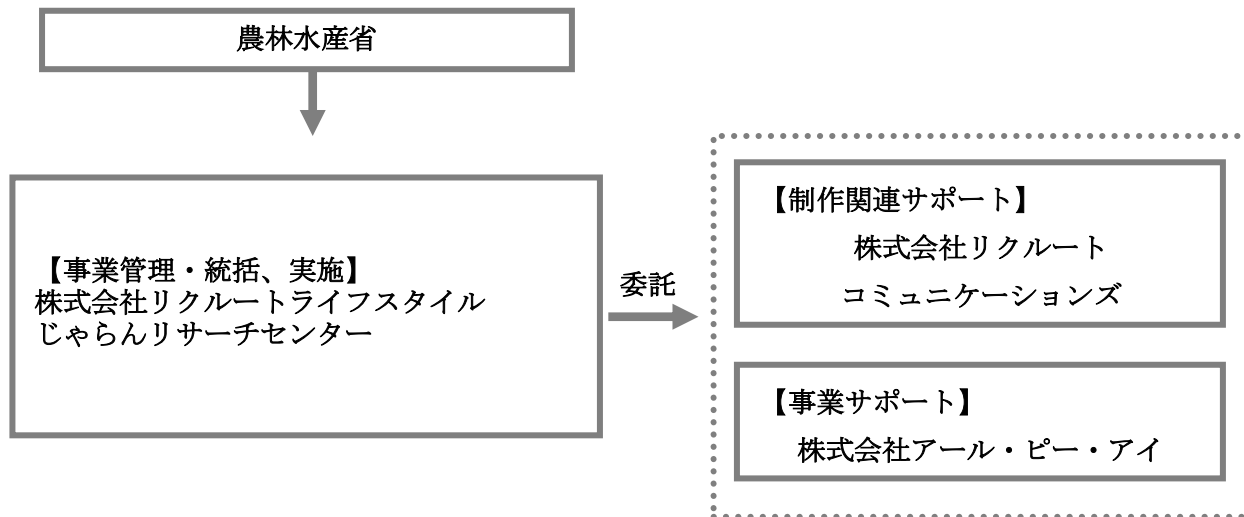


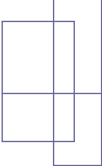
2. 事業内容

1) 事業の構成



2) 事業実施体制



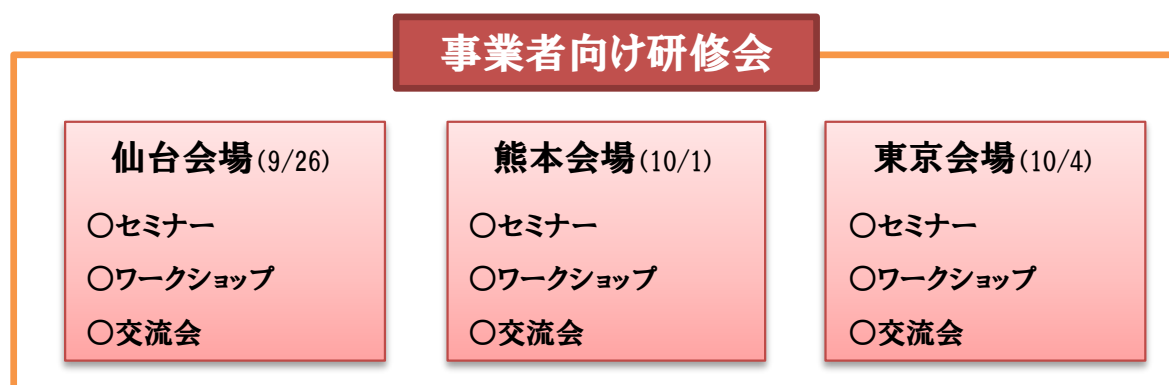


II. 事業実施結果

0. 事業者向け研修会の開催

G T受け入れ事業者に対して、個人観光客のトレンドやG Tへの接続方法等について講義をする「セミナー（グリーン・ツーリズムの取り組みに係る支援）」、既に造成しているG Tプランについて、個人観光客のニーズを踏まえたブラッシュアップを図る「ワークショップ（多様なグリーン・ツーリズムモデルプランの検討）」、観光事業者との交流を促進する「交流会（観光事業者とグリーン・ツーリズム実施地域とのマッチング）」を一連のプログラムとして「事業者向け研修会」を開催した。

図表 事業者向け研修会の構成



1) 開催概要

○事業者向け研修会の開催日時、場所、参加人数

開催地	開催日時	参加人数
	開催場所	
仙台	2013年9月26日(木) 11:00~17:00	計64名 事業団体 40名(26団体) オブザーバー 18名(13団体) アドバイザー 6名
	仙台トラストタワー 11F 1101(第一会議室)	
熊本	2013年10月1日(火) 11:00~17:00	計77名 事業団体 46名(33団体) オブザーバー25名(21団体) アドバイザー 6名
	くまもと森都心プラザ 多目的室	
東京	2013年10月4日(金) 11:00~17:00	計75名 事業団体 45名(32団体) オブザーバー 23名(16団体) アドバイザー 7名
	グラントウキョウサウスタワー41F スカイルームC	

○プログラム

<仙台会場>

個人旅行者向けのグリーン・ツーリズム商品造成・流通に関する研修会

9月26日(木)仙台会場

開催プログラム

11:00 開会
開会あいさつ
二瓶 孝也 様 農林水産省 東北農政局 農村計画部 農村振興課 課長補佐
事業の全体概要とスケジュール説明

11:05 セミナー
テーマ:グリーン・ツーリズムエントリーモデルの必要性と造成のポイント
横山 幸代 株式会社リクルートライフスタイル 副センター長
小林 崇 氏 日本都市ホテル開発株式会社 ベストウェスタンホテル仙台 支配人代理
仲野 大輔 氏 有限会社仲野観光果樹園 取締役専務

12:10 (50分) 昼休憩

13:00 アドバイザー紹介・ワークショップの進め方

13:20 ワークショップ
テーマ:グリーン・ツーリズムエントリーモデル造成・改良
●ファシリテータ
稲垣 昌宏 株式会社リクルートライフスタイル 研究員

15:45 (15分) 小休憩

16:00 最終プレゼン&アドバイザー講評

16:20 流通方法のご提案と今後の流れのご説明

16:50 商談会・懇親会を兼ねた名刺交換タイム

アンケートへのご協力をお願いいたします。ご記入後、スタッフまでお渡しください。

携帯電話はマナーモードに切り替えの上、会場内での通話はご遠慮下さい。

研修会場内は禁煙となっております。おタバコは定められた場所でお願いたします。

<熊本会場>

個人旅行者向けのグリーン・ツーリズム商品造成・流通に関する研修会

10月1日(火)熊本会場

開催プログラム

11:00 開会
開会あいさつ
霧 郁夫(つる いくお) 様 (九州農政局農村計画部農村振興課 課長)
事業の全体概要とスケジュール説明

11:10 セミナー
テーマ:グリーン・ツーリズムエントリーモデルの必要性と造成のポイント
横山 幸代 株式会社リクルートライフスタイル 副センター長
松元 健蔵 氏 フェニックスリゾート株式会社 アクティビティ部 部長
みやざきグリーンツーリズム研究会 事務局長
宮崎県観光審議会 委員

12:10 (50分) 昼休憩
近隣の飲食店・コンビニ等は裏面をご参照ください。

13:00 アドバイザー紹介・ワークショップの進め方

13:20 ワークショップ
テーマ:グリーン・ツーリズムエントリーモデル造成・改良
●ファシリテータ
稲垣 昌宏 株式会社リクルートライフスタイル 研究員

15:45 (10分) 小休憩

15:55 最終発表&アドバイザー講評

16:20 流通方法のご提案と今後の流れのご説明

16:50 商談会・懇親会を兼ねた名刺交換タイム

アンケートへのご協力をお願いいたします。ご記入後、スタッフまでお渡しください。

携帯電話はマナーモードに切り替えの上、会場内での通話はご遠慮下さい。

研修会場内は禁煙となっております。おタバコは定められた場所でお願いたします。

<東京会場>

個人旅行者向けのグリーン・ツーリズム商品造成・流通に関する研修会

開催プログラム


10月4日(金)東京会場

11:00 開会

開会あいさつ
 三善 浩二 様 (関東農政局 農村計画部 農村振興課 課長)
事業の全体概要とスケジュール説明

11:10 セミナー


テーマ: **グリーン・ツーリズムエントリーモデルの必要性と造成のポイント**
 横山 幸代 株式会社リクルートライフスタイル 副センター長
 大越 未来 氏 稲取温泉観光合同会社事務局

 **12:10 (50分) 昼休憩**

13:00 アドバイザー紹介・ワークショップの進め方

13:20 ワークショップ


テーマ: **グリーン・ツーリズムエントリーモデル造成・改良**
 ●ファシリテータ
 稲垣 昌宏 株式会社リクルートライフスタイル 研究員

 **15:45 (10分) 小休憩**


15:55 最終発表&アドバイザー講評

16:20 流通方法のご提案と今後の流れのご説明


16:50 商談会・懇親会を兼ねた名刺交換タイム



アンケートへのご協力をお願いいたします。
ご記入後、スタッフまでお渡しください。



携帯電話はマナーモードに切り替えの上、会場内での通話はご遠慮下さい。




研修会場内は禁煙となっております。
おタバコは定められた場所をお願いします。

○配布資料

■本日の趣旨<3会場共通>





【目的】

①素晴らしいグリーン・ツーリズムの魅力をもっと多くの消費者に知っていただくために。
 ②旅行ついでに気軽に参加できる「入り口」となるプランを造成・普及させましょう。

【ターゲット・手法】

■大人の個人観光客
 ■「短時間で」「気軽に」田舎・農村のありのままの楽しさを感じさせ、GTへの興味を増幅させる

2